

事務事業評価表 平成24年度

政策 明日につながる産業の振興  
 施策 就業環境の整備  
 基本事業 就業機会の確保

事業名 **緊急雇用創出事業 (応急手当普及啓発・支援事業)**

[0911]

部名	消防	事業開始年度	平成21年度	実施計画事業認定	非対象
課名	庶務課	事業終了年度	平成23年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 市民
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) この事業により 市内の雇用を創出する。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) ノウハウのある事業所等に事業を委託し、効果的・能率的に実施する

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	市民	人	122,568	122,138	121,705	121,705
対象指標2						
活動指標1	委託する事業所数	事業所	1	1	1	0
活動指標2						
成果指標1	雇用者数	人	4	3	3	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	4,990	8,405	8,465	0
正職員人件費 (B)		千円	2,075	2,015	4,013	0
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		千円	7,065	10,420	12,478	0

費用内訳	
23年度	委託料 8,465千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	
------------	--	---------------------	--

## 23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
妥当である  
妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

消防における人員不足の解消と市内における雇用者数の増加に役立ち、まさに一石二鳥である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
貢献度ふつう  
貢献度小さい  
基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

人員不足により消防施設の点検等が滞っているため、消防業務における貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている  
どちらかといえばあがっている  
あがらない

理由  
・  
根拠は？

消防水利等の施設点検や市民救護士講習会支援などを実施し、消防業務への支援に大きな成果が出ている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
成果向上余地 中  
成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

円滑な消防業務に大きく貢献しており、雇用者（消防業務員）の業務支援は必要とされている。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
ない

理由  
・  
根拠は？

雇用の創出のために要求通りの予算を確保しなければならず、コスト削減の余地はない。